



2018年5月9日

各位

会社名 ぴあ株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢内 廣
(コード番号 4337 東証第1部)
問合せ先 取締役コーポレート統括 吉澤 保幸
(TEL. 03 - 5774 - 5278)

定款一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年6月16日開催予定の第45回定時株主総会に、下記の通り定款一部変更について付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)の施行により、責任限定契約を締結できる会社役員~~の範囲~~が変更され、新たに社外取締役でない非業務執行取締役および社外監査役でない監査役との間でも責任限定契約を締結することが可能となりました。これに伴い、それらの取締役および監査役につきましても期待される役割を十分に発揮できるよう、現行定款第21条および第30条の一部をそれぞれ変更するものであります。
なお、第21条の変更に关しましては、各監査役の同意を得ております。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(変更部分は下線で示しております。)

現 行 定 款	変 更 案
<p>(取締役の責任免除) 第21条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、<u>任務を怠ったこと</u>による取締役(取締役であった者を含む。)の損害賠償責任を法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる。</p> <p>2 当社は、会社法第427条第1項の規定により、<u>社外取締役との間に、任務を怠ったこと</u>による損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、500万円以上であらかじめ定めた金額または法令が規定する額のいずれか高い額とする。</p>	<p>(取締役の責任免除) 第21条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、<u>任務を怠ったこと</u>による取締役(取締役であった者を含む。)の損害賠償責任を法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる。</p> <p>2 当社は、会社法第427条第1項の規定により、<u>取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)</u>との間に、<u>任務を怠ったこと</u>による損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、500万円以上であらかじめ定めた金額または法令が規定する額のいずれか高い額とする。</p>

(変更部分は下線で示しております。)

現 行 定 款	変 更 案
<p>(監査役の責任免除)</p> <p>第30条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、<u>任務を怠ったことによる</u>監査役（監査役であった者を含む。）の損害賠償責任を法令の限度において、取締役会の決議によって、免除することができる。</p> <p>2 当社は、会社法第427条第1項の規定により、<u>社外監査役との間に</u>、<u>任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。</u>ただし、当該契約に基づく責任の限度額は、500万円以上であらかじめ定めた金額または法令が規定する額のいずれか高い額とする。</p>	<p>(監査役の責任免除)</p> <p>第30条 当社は、会社法第426条第1項の規定により、<u>任務を怠ったことによる</u>監査役（監査役であった者を含む。）の損害賠償責任を法令の限度において、取締役会の決議によって、免除することができる。</p> <p>2 当社は、会社法第427条第1項の規定により、<u>監査役との間に</u>、<u>任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。</u>ただし、当該契約に基づく責任の限度額は、500万円以上であらかじめ定めた金額または法令が規定する額のいずれか高い額とする。</p>

以 上